

Photo=Yasuaki Kagii, Masashi Ogawa
Text =Yasuaki Kagii, ave.
Planning & Edit=ave.
Design=Shigehiko Tabata

ALIZE
Presents,



c/o Nouvata Park Hotel
123, Promenade Roger Laroque, Anse-Vata
BP8068 98807 Nouméa Cedex
New Caledonia

Tel(+687)26-25-85
Fax(+687)26-25-22

✉info@alizedive.com

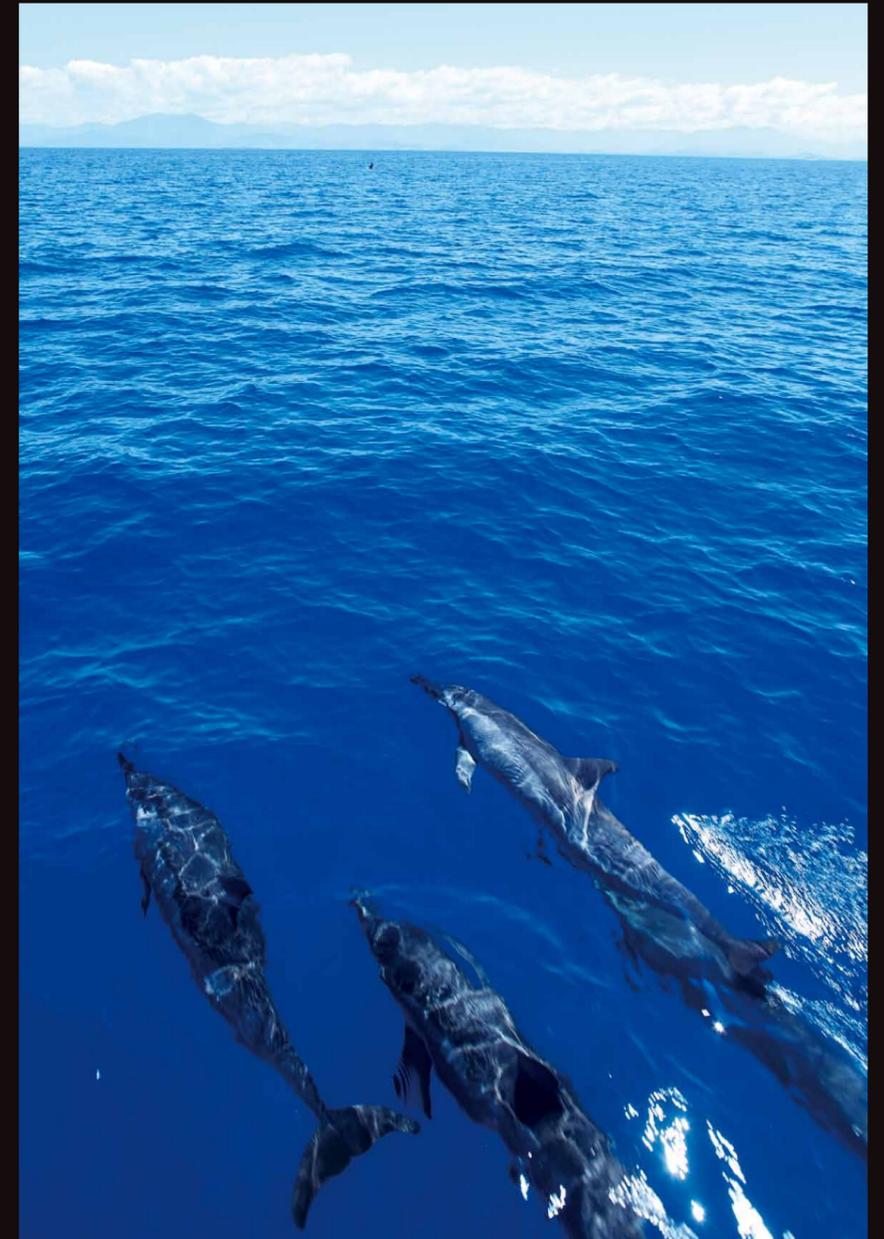
●
潮を読んで大物をガンガン当てていくベテランガイド陣が揃った、ニューカレドニアで唯一の日本人経営ダイビング唯一の日本人経営ダイビングサービス。ニューカレドニアの海を毎日のように潜り徹底的に研究。豊富な生物の知識も持ち合わせる。定員24名の大型クルーザーと小型クルーザーの2隻により、快適でフットワークの軽いダイビングを提供。ナイトロックス導入。

憧れのグランブルー

青い地球に降り注ぐ美しい光たち。この光景を目の前にすると、ヌーベルバーグの海から祝福を受けたような幸せに包まれる。忘れることのできない憧れのグランブルー。

ブラックマンタの宇宙

自然の造詣は、精緻で自然の摂理を教えてくれる。ブラックマンタの肌は、レントゲン写真のようでありながら、宇宙との繋がりを感じさせてくれる。



イルカに会う

ダイビングの途中、船先にイルカたちが遊びにやってきた。思いがけない出会いに心が躍る。水面越しに、彼らの視線を感じる。とき、海と一体になった感じがする。

ALIZE Presents,
Nouvelle Experience Photo by Yasuaki Kagii

透明感と蒼さが絶妙に混じり合うニューカレドニアの海中。
独特の「ヌメアンブルー」が私たちを包み込み、新しい世界へと誘います。
世界遺産の海が魅せる、今まで体験したことのない驚きと感動。
ダイビングから始まる、ニューカレドニアでの特別な体験を
心行くまでご堪能ください。



マンタトレイン

ニューカレドニアの海で行進するブラック&ホワイトのマンタ。このオセロのような対照的な色は青い海によく映える。小川マサシさんは、長年のデータを駆使し、高確率でマンタとの出会いを約束してくれる。そして、手が届くほどの距離まで接近することができる。

Surprise Healing



「蒼」が優位な世界

美しい景色に憧れて、離島に足を伸ばす。何色よりも「蒼」が優位なラグーンで、日常のストレスから解放される。心に残る景色を、ニューカレドニアでいつも覚えた。

写真家・鍵井靖章が語る ニューカレドニアへの想い

パツとしない出会いから発展した 10年以上続く最高のタッグ

初めてアリゼの小川マサシと出会ったのは、1999年の東京。その時、マサシさんはニューカレドニアの海の魅力を熱く語ってくれたが、私はどこか上の空だったのを覚えている。後々聞いたところ、マサシさんの印象では「このカメラマンは、きっとニューカレドニアには来ないな」だったらしい。劇的な出会いでもなく、話が大きく盛り上がるわけでもなく、なんとなくの初対面を終えた。しかし、数ヵ月後、偶然にも月刊ダイバーから、ニューカレドニアの取材のオファーが舞い込んだ。大切な出会いは、いつもこんな調子で訪れる。

初取材からすでに11回 行くたびに新たな発見

初めてのニューカレドニア取材は、海況に恵まれず、うまく撮影ができなかった。リベンジするかのようになり、翌年も同じように赴いた。すると巨大なブラックマンタに会い、無尽のギンガメアジやバラクーダの群れに囲まれることに。ニューカレドニアでは、世界基準のダイビングスポットが、待ち受けているのだ。それから10年以上もマサシさんとコンビを組み、ニューカレドニアの海を撮影してきた。海を通じて、小川マサシとはプライベートでの親交も深まり、取材中は、海に潜るのも、飯を食べるのも、寝るのも(?)、常に一緒になった。と同時に、私はニューカレドニアの海にもどんだん魅了されていった。

ニューカレドニアの海は、潮流によって、さまざまな生き物に会える海。毎回、新鮮な気持ちになれるのだ。特にバス・ドウ・ブーラリ・アウトは、大物に会えるビッグポイントで、マンタ、ブラックマンタ、オグロメジロザメ、マダラトビエイの群れ、マダラエイなどに会うことができる。水深12mの棚の上にはいくつものクリーニングステーションがあり、手が触れるほどの距離で、何枚ものマンタとランデブーを楽しむこともできる。中には、ちゃんと撮影のタイミングを合わせてくれるモデル・マンタも登場するので、いつもどんな出会いがあるのか、楽しみで仕方ない。

ニューカレドニアの魅力は とどまることを知らない

その他、テババなどの魚影の濃いポイントでも、お疲れモードのカメ、威嚇してきたバラクーダ、物怖じしないヤイトハタなど、思い出深い出会いも数え切れないほどある。ニューカレドニアの海ならではの固有

種もかなりカッコイイ。ペイントッド・アンティアス、マゼンタストレトラス、ヌメアカタライなど、絶妙な色合いで水中写真家の食指をくすぐる。

ニューカレドニアの海は、日本人ダイバーにとってまだポピュラーになり切れてない海かもしれない。しかし、これまでも小川マサシがニューカレドニアの海を私たちにの新しいディステーションとして、開拓してきたように、今後もさまざまな発見に恵まれ、他の海では見られない特有の海中景観を披露してくれるはずだ。小川マサシがいる限り、ニューカレドニアの海は、いつまでも発展途上で、夢を持った海に違いないのだ。

第一印象があまり良くないほど、海や人への思いや恋(?)は長続きするのかも知れない。私の思いは、今も継続中で、また早くあのニューカレドニアの青い海に包まれたいと心から願っている。

テババのクリーニングステーションに集まるカメたち。ペラに全身マッサージを受ける様子は、まるで癒しを求めたサラリーマンのようでどこか可笑しい。



お魚たちの積み家となった沈船ディエポアース。青い光に包まれたこの人工物は、まるで宇宙船のような趣がある。



ラグーン内には、誰もが気軽に楽しめる美しいサンゴ礁が広がる。世界中のゲストに愛されるヌメアの海が待ち受けている

Profile
かざい・やすあき
1971年、兵庫県生まれ。水中写真家。大学在学中に水中写真家・伊藤勝敏氏に師事する。1993年よりオーストラリア、伊豆、モルディブに拠点を移し、水中撮影に励む。1998年に帰国。フリーランスフォトグラファーとして独立。自然のリズムに寄り添い、生き物に出来るだけストレスを与えないような撮影スタイルを心がける。約20年間、海の生き物に、出会い、ふられ、恋して、無視され、襲がり、勇気をもらい、そして、子育ての方法などを教えてもらいながら、撮影を続けている。2008年にはイギリスで写真集「Deep Blue」、2011年、写真集「アシカ日和」をマガジハウスより上梓。受賞歴、TV、ラジオ出演多数。

潜るたびに違う表情

飽きることがない水中には、
美しさと力強さが混ざりあう

世界でも屈指のバリアリーフを持つニューカレドニアの海は、水中生物の宝庫で格好ダイビングエリア。南半球及びニューカレドニアの固有種や、超大物まで登場するダイブポイントが自然保護区に指定されているため、ゆったりとした雰囲気ななかフィッシュウォッチングを堪能できる。大まかに、ダイビングエリアはメートル島周辺スポット、アメテ灯台周辺スポット、ダンベア周辺スポットの3つのエリアとなり、ダイビングレベルを問わず満足できるポイントが存在する。

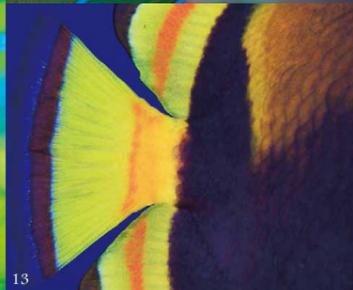


放射状の太陽光にアオウミガメのシルエットが浮かぶ。青いグラデーションが海の奥行きを表現する。



09 アヤコショウダイの群れ
10 潮流次第では、サメの群れにも出会うことができる。中には子供のサメも混じっていて、家族で大行進。

11 コンスピキュアス・エンジェルフィッシュ
自然の生み出した色彩に魅了される瞬間。ニセカンランハギ (12) とブラック・バタフライフィッシュ (13) の尻尾



青い海に浮かぶヨスジエダイの黄色。非日常の世界の扉を開ける



05 海底に広がる花畑。海の創造主は、どれほど私たちに驚きを与えてくれるのだろうか

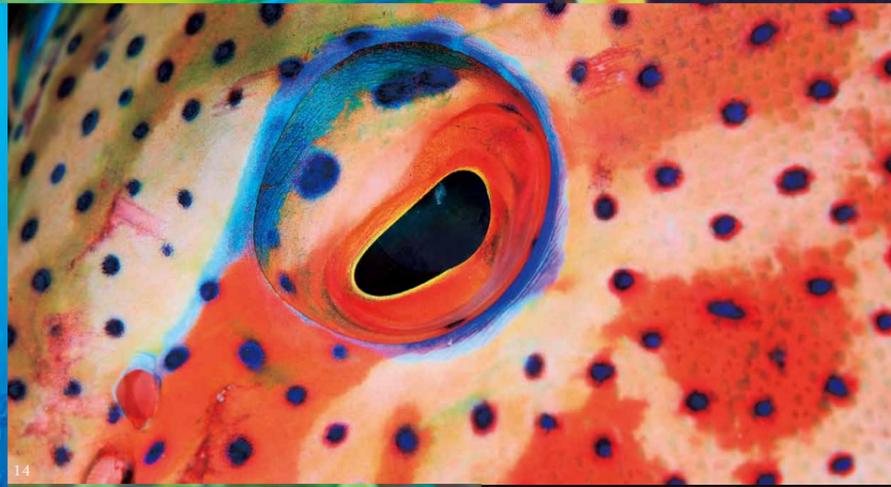


01 ~ 05 遠い海に行ったのだから、やはり特別な出会いが欲しい。ニューカレドニアは固有種の宝庫でもある。他の海で見られない生き物をご覧あれ！
(01) ヌメアの海の宝石・ニラミハナダイ。この美しい魚に出会うと、一日中ハッピーな気持ちになれる (02) フェミニラス (03) ラインドフェアリーラス (04) オオヘソオムガイ (05) ペインテッド・アンティラス

06 キンギョハナダイ
07 マダラエイ
08 ヌメアカタライ



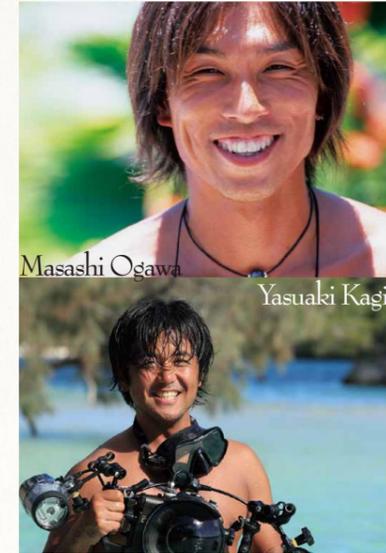
沈船にアプローチするとき、冒険心がくすぐられる。新しい旅の始まり



14 星空メークアップで、自己主張をするスミアラ
15 貴婦人のような優雅さを持つハナヒラクマノミ

対談 Masashi×Yasuaki どっさり本音トーク！

2人の出会いは東京。マサシさんの片思いからスタート！



となく感じていましたが、第三者が端的に言葉に置き換えてくれたことがとてもうれしいですね。

これからもニューカレドニアの海を伝えていきたい
2人で共に、それぞれの方法で

[M] ニューカレドニアで、最初の3年はイルデバンでがむしゃらになって海を覚えました。毎日潜って、データを取って、ガイドとして海を紹介できるように。それから活動拠点をヌメアに移して現在に至ります。心境の変化があったのは、ここ4年くらいかもしれません。「ガイド会」のメンバーに入り、海のことに真剣に取り組んでいるガイド陣と情報交換しているうちに、もっとニューカレドニアの海を知りたい、もっとおもしろさを伝えていきたいと思うようになったんです。たとえば、最近サメが増えています。どうしてそうになっているのか、なぜそうやってきたのだろう、というんな仮説をたてて、もっと知りたいという、内から湧き上がる好奇心に対し、以前よりストレートに深く追求するようになりました。

この海をビジュアル的なものからアカデミックなものまで伝えられるのは自分しかない、そういう役目を担っていきたくと思っています。

ニューカレドニアの海と聞いたら、ブラックマンタが有名になっていますが、地味だけど美しい魚もとても多いんですよ。新しいポイント開拓もしていきたいのですが、伊豆のガイドさんの一畳ダイビングのように、もっと深く、海のおもしろさを紹介していきたいとも思うんです。設備などに関しても、日本のダイビングレベルにもっと近づきたい、そう思うことも多いです。

[Y] 以前に比べて、船も大きくなりましたよね！海外で大きな船を持つことは簡単ではないと思うんです。ゲストに快適なダイビングを提供したいという気持ちが伝わってきますね。

僕は、この国のダイビングスタイルを構築しているマサシさんを応援していきたいと思っています。ニューカレドニアで撮影した写真が、僕の代表作になっているのも事実ですし、その撮影の背景にはマサシさんの力があってからです。写真でニューカレドニアの海を広く伝えたい、いっしょに構築していきたい、そう思っています。

僕はこれからもマサシさんと交流を続けていこうし、ニューカレドニアに恋をし続けるでしょう！

幾度となく取材に行っただけで、マサシさんはいつも一生懸命にガイドしてくれるんです。水中だけではなく陸だってそう。モデルさんにまで気を遣って雰囲気作りしてくれる。毎回ニューカレドニアの撮影に成功できるのは、マサシさんのおかげです。

ニューカレドニアを撮影したいと思っている人に、自信をもってマサシさんを紹介できますよ、「信頼のできる人です。ニューカレドニアをトコトコ紹介してくれます」と。

[M] ありがとうございます！鍵井さんは常に進化していて、こちらのリクエストにこたえてくれます。パワフルな海中シーンはもちろんのこと、陸風景も、モデルさんをからめた写真も、任せておけばすべて撮ってくれる。そんな安心感がありますね。

でもね、毎回驚かされるのは、鍵井さんがカメラを持って海に入った瞬間、魚たちが彼に何かを与えるんですよ。「演じる」という言葉がびびりなんですけど、見たことのない動きや表情を見せてくれるんです。こんな引きを持った人を見たことない！毎日潜っている自分にとっても、新しい発見があるし、いいシーンに出会えるのも、鍵井さんと一緒にいるときなんです。

[Y] いつも撮影をサポートしてくれて、鍵井という人間をしっかりと見てくれるマサシさんに、そういう言葉ももらえるのはとても光栄なことです。自分でもなん

*ガイド会=世界中の海の様子を、現地のガイドが自分自身の言葉で解説しながら、海中の案内だけでなく自然界をフィールドとする「ガイド」という職業を、より理解してもらおうと活動を続けている団体。現在のメンバー数32名。

[M] 鍵井さんとは、10年ほど前に友人の紹介で初めて会いました。待ち合わせ場所の新宿で待っていたら、カメラを担いだ、いかつい鍵井さん登場！(笑)それから一生懸命、ニューカレドニアの海の話を話したんですが、どこか上の空で……。リアクション薄いな〜って思いながら話してましたよ。

[Y] ほんとに、上の空だったなあ！興味になかった、というよりもイメージがもてなかったって言うほうが正解かも。当時はニューカレドニアの情報もあまりなかったし、マサシさんの話を聞いてもピンとこなかったし……。

[M] なんだか僕ばかり話をしていて、片思いをしているようでした！僕は会う前に鍵井さんのことを調べてきていたのに……。気持ちを入れて話しても、あまり聞いてくれなかったから、この人は撮影には来ないだろうなって、そう思いましたよ。

[Y] だから話がものすごく盛り上がるわけでもなく、比較的あっさりとした出会いだったと思えますよ。でも、その出会いから間もなく「月刊ダイバー」から連絡があって、ニューカレドニアの取材が決定。案外すんなりニューカレドニアに行くことになりましたね。とはいえ、とても楽しみでしたよ！行ったことのない場所だったし、ワクワクしました！

今や強い信頼関係で繋がるお互いを認め合う仲

[M] そんなワクワクしてきてくれたのに、初取材は「こんな荒れている状態が珍しい！」ってくらい海のコンディションが悪くて……。

[Y] ほんと、あの時はすごかった……。でも2回目以降は、すごい撮影ができたからよかったけどね！

取材を重ねるごとに、マサシさんがいなかったら、今のニューカレドニアのダイビングはない！って思うんですよ。体験ダイビングで終わる海ではなく、しっかりダイバーが楽しめる海にしていたのはマサシさん。マンタが見られる海にしたのも、さまざまな魅力があることを証明したのも、ぜんぶマサシさんなんです。実際、ニューカレドニアは簡単な海じゃないんですよ。マンタにしても遭遇できるタイミングを見極めるのが難しい。でも、取材という時間のない中でも、潮を見て結果を出してくれる。

そんなガイドそうそう出会えないと思うんです。

ニューカレドニアの中心都市であるヌメアは、街全体がとことんオシャレ。南の太陽に照らされた街にはパステルカラーのビルやお店、住宅が立ち並び、ハッとするとカラフルでかわいらしい印象。青い海にはには白いヨットが並べられ、ヨーロッパの雰囲気そのもの。

また、料理も魅力的。フランス料理の繊細な味付けと、ニューカレドニア産の豊富な食材の味わいが絶妙にマッチ。多彩なフレンチが楽しめる。

ヌメアは、潇洒な建物が建ち並ぶ南国の街。アンスパータ、ベイデトロ、ココティエの3つの主要なエリアは、全て海岸線を望むことができる。

フランスの香り漂う街並みと、心地のいい解放感



- 01 ビローグで遊ぶ子供たち
- 02 離島にあるカメラビーチ
- 03 ココティエ広場周辺
- 04 アンスパータビーチ



- 05 素敵な演出がここ
- 06 トロピカルフラワー
- 07 カラフルなミッションロープ(現地版)
- 08 ヌメアの街角スナップ
- 09 美味しい朝市

ALIZE Dive Days

ALIZE 1日の流れをクローズアップ!

ALIZE

アンスバビーチエリアのヌバパークホテル内に位置する。ショップの目の前はホテルの大きなラグーンプールがあり、店内はニューカレドニアの魚達の写真や、その日のダイビングデータなどの情報が満載。



PICTILIS

AMPHIPRION



7:00 ホテルピックアップ
「おようございます!」からスタートするALIZEの1日。ホテルからマリナまでは送迎車で楽々移動!



7:20 マリナに到着 器材準備
マリナに到着。海を目前にテンションも一気にUP! 早速器材の準備。



7:30 出港
準備ができたところで、いざ出港! ALIZEのダイビングボートは快適そのもの。

今日はどんな出会いがあるかな?



8:45 ダイビング 1本目
ポイントに到着したらブリーフィングを受けて1本目! 透明度の高い海へ勢よくエントリー。



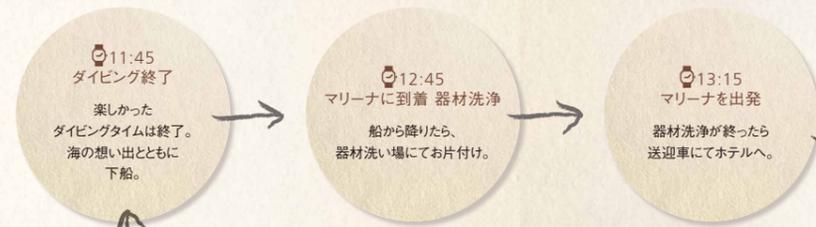
10:45 ダイビング 2本目
ニューカレドニアでは午後から風が強くなるので、午前2本のダイビングが基本。

マンタに出会えますように……。



9:45 水面休息
水面休息タイムのうちにポイント移動。ゲストはボートでのんびり。

のんびり 休憩～



11:45 ダイビング終了
楽しかったダイビングタイムは終了。海の思い出とともに下船。

12:45 マリナに到着 器材洗浄
船から降りたら、器材洗い場にてお片付け。

13:15 マリナを出発
器材洗浄が終わったら送迎車でホテルへ。



13:30 ホテル到着
ダイビングが午前で終了ということは、午後は丸ごとフリー! 街散策へ繰り出すもよし、のんびりとつづるもよし! ニューカレドニアを満喫しよう。

午後はまるまる自由時間!

18:00 ログ付けと精算

ヌバパークホテル内ALIZEオフィスにてログ付と精算。今日の海の成果をみんなシェア! 楽しいダイビング話に花を咲かせよう。



ダイビングポイントガイド Diving Point Guide

パス・ドゥ・ブーラリ IN PASSE DE BOULARI IN

初級～/アンカーリング or ドリフト / -22m
バリアリーフの内側で水底は白砂。ガーデンイールのコロニーがありリーフの上にはナポレオンの姿も。ハーフアンドハーフロミスやオドリハゼ、ハナビラクマノミやハダカハコセなどの人気マクロも充実。中層を潮に逆らってやってくるマダラトビエの繻隊との遭遇もある。

パス・ドゥ・ダンベア PASSE DE DUMBEEA

中級～/ドリフト / -25m
常に透明度がよくサンゴの状態がとてもよいスポット。ときに激しく流れることもあるが、グレイリーフシャークやナポレオン、ハンマーヘッドシャークが見られる。潜降・浮上の際にローブなどの揺るものがないので、ある程度のスキルと注意が必要。

テパバ TEPAVA

初級～/アンカーリング / -21m
メートル島の裏側にあり、魚影が濃く魚種も多い。バイカードティーバックやバリアリーフクロミス、エレガントゴビーなどのレアものマクロに加え、ギンガメアジ、バラクーダ、ウミガメ、ユメウメイロ、ミナミズミの群れが通年見られ、水中でイルカに遭えることもあるミラクルポイント。

セシュ・クロワッサン SECHE-CROISSANT

初級～/アンカーリング / -9m
近場のスポットで初心者でも安心して潜れる。ニセクホシフエダイとロクセンフエダイがじゅうたんを敷き詰めたように群れていて、ロウニンアジがその群れに突っ込む様子も見ることができる。スズメダイの種類も豊富で、ローラズダムセル、サウジーズデビル、ホワイレイズサーザントなどの珍しい種類もいる。

ディエポアーズ DIEPOISE

中級～/アンカーリング / -27m
1988年に研究のために沈められた全長約60mのフランス海軍の船が水深27mの海底にそびえ立つ。サンゴがある程度付いているので、そこを棲みかとする甲殻類などのマクロ生物が非常に豊富。スカシテジクダイやキビナゴ、キンメモドキが群れていて、それを狙ってオニヒラアジなどの回遊魚が突っ込むシーンも。

タブー TABU

初級～/アンカーリング / -19m
真っ白な砂地とその砂から顔を出す無数のガーデンイール。このガーデンイールは神経が固太いのか(?)ダイバーが近づいてもすぐには隠れない。テンスやハゼなどの砂地の生物が豊富で、中層にはツマリテングハギやヨコシマサワラもいる。浅瀬のサンゴにはデバズメダイやネッタイスズメダイなどのカラフルな魚も多くのんびりとフィッシュウォッチングするには最適。

ソノア・ロック SOURNOIS ROCK

初級～/アンカーリング / -22m
魚種の多さとその濃さではここになうスポットはない。アカヒメジ、ヒメフエダイ、タカサゴ、ノコギリダイがリーフを覆い尽くすように群れていて、リーフのかけあがりにはヨスジフエダイがちらちらで群れている。水底にはヤシハゼや ニシキアナゴ、プリティテールシュリンゴビーといった、かわいくて人気のある水底生物もたくさんいる。

タートルスポット TURTLE SPOT

初級～/ドリフト / -14m
「テパバ」のすぐ隣。ポイント名のとおりウミガメを見ることができる。多いときは2桁にものぼるウミガメを見ることができる。見られるウミガメは、アオウミガメ、アカウミガメ、タイマイの3種類。その他、キハツクやロクセンヤッコ、ツバメウオ、マダラトビエも。

Travel Information 基本情報

国名…フランス領ニューカレドニア (Nouvelle Calédonie/ヌーベルカレドニー)
首都…ヌメア
言語…公用語はフランス語だがホテル等では英語もかなり通じる
人口…約24万人。
通貨…パシフィック・フラン (CFP) 1CFPは日本円にして約1円 (2011年1月現在)
時差…日本より2時間早い。ニューカレドニアの正午は日本の午前10時
治安…非常に安定している
水…水道水は安心して飲むことができる。気になる方はミネラルウォーターを
電圧…220ボルト、50サイクル。プラグはCタイプの2穴丸型式。日本の電化製品で変圧機能の無いものはプラグと変圧器が必要
査証…日本国籍の方で、観光目的の30日間以内の滞在なら不要
チップ…チップの習慣はない
両替…各銀行、空港両替所 (手数料は1回につき520～1,200 CFP両替所・銀行に

よって異なる)、ホテルのフロント等で両替可能。*日本ではCFPを再両替できないため、帰国時に余った現地通貨は現地で日本円等に再両替するのがベター
アクセス
成田と関空からエアカラン (エア・カレドニア・インターナショナル航空) 直行便で約8時間。ニューカレドニア本島のグランドテール島に首都ヌメアは位置していて、離島へのアクセスの起点となる。
ニューカレドニアの気候
年間を通して、さわやかな夏のような亜熱帯の海洋性気候。平均気温は24℃。南半球にあるため日本とは逆の季節でめぐり、1～2月が真夏。7～8月が冬にあたる。しかし7月でも平均気温は20℃ぐらい。朝、夕は多少冷えるものの、晴れた日中は夏服で十分。2～4月が比較的雨の多い時期で、9～11月が乾期。

体験ダイビング



Cカードを持ってなくても、ニューカレドニアの海を楽しめます!
潜る深さは4m程度ですが、カラフルな魚たちやサンゴなど十分楽しめる。日本人インストラクターと一緒に潜るので安心。
1dive=11,550 CFP (TAX込み)

レンタル器材



充実のレンタル器材だから手ブラ参加もOK。
マスク & フィン=525 CFP / ウェットスーツ=1050 CFP / BCD=1050 CFP / レギュレーター=1050 CFP / ダイブコンピューター=1050 CFP (1日の料金)

ナイトロックス



ナイトロックスにももちろん対応。
EANx32が使用可能。利用する場合は、エンリッチドエアSPなどの認定カード提示が必要。ナイトロックス対応のダイブコンピューターを持参。
料金=1,575 CFP / 2dives (TAX込み)

各種認定

Cカード取得をはじめステップアップ講習も充実。
ニューカレドニアの海でダイバービュー! ステップアップもできます。詳しくはお問い合わせを。
PADI Open Water Diver=73,500 CFP (TAX込み)
PADI Advanced Open Water Diver=63,000 CFP (TAX込み)
教材、レンタル器材、カード申請料を含む